


環境省・オフセット・クレジット（J-VER）制度認証委員会
 （事務局：気候変動対策認証センター）御中

平成 25年7月31日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
日本の自然遺産—京丹波の名水と熊野の森を守る CO2 森林吸収プロジェクト						
GHG 検証機関						
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係 宣誓します。						
機関名	SGS ジャパン株式会社					
担当部署名	認証サービス事業部 森林認証部					
責任者名	今泉 俊一					
責任者 E-mail	shunichi-imaizumi@sgs.com					
責任者電話番号	045-330-5047					
審査員名 ⁱ	今泉 俊一/主任検証員（チームリーダー） 佐々木 聡子/主任検証員（レビューアー）					
機関要件への合致	ISO14064-2 プロジェクト検証/認定分野-GHG の吸収プロジェクト（森林）認定 を取得し検証機関としての要件を満たし、また暫定的な妥当性確認機関としての 要件を満たし、暫定妥当性確認機関及び検証機関としての登録を受けています。					
検証結果						
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット（J-VER）制度 妥当性確認・検証ガイドラインVer.2.2					
事業者との契約日	2013年7月5日					
モニタリング報告書受領日 ⁱⁱ	2013年7月5日					
検証報告書発行日	2013年7月31日					
現地審査	期間	2013年7月9日-10日				
	審査内容	プロジェクト対象のモニタリングプロット及びモニタリングエリアをサンプリングにて訪問し、プロジェクト計画書及びモニタリング報告書に記述された森林及びプロジェクトの状況から乖離がないかについて確認した。現地審査時には担当者へのインタビュー、モニタリング手順及び測定機器のキャリブレーションの実施状況及び管理状況を確認し、構築されたモニタリング体制に変更がなく、組織の実態に即しており、適切に実行されているかについて確認した。				
排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	-	-	-	637.85	845.22

<p>検証結果の要約</p>	<p>グリーンプラス株式会社による CO2 吸収量増大（間伐促進型プロジェクト）事業に対し、モニタリング報告書中の 2011 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの期間（2 年間）の吸収量情報について、合意された検証範囲、目的及び基準に基づき、合理的保証を付与する水準にて検証を実施した。その結果、モニタリング報告書に記載された吸収量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、環境省モニタリング方法ガイドライン（森林管理プロジェクト用） Ver.4.3、方法論（R001）に基づいて作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると認める。</p> <p>2011 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までの期間（2 年間）の当プロジェクトの吸収量総計は、1,483 t-CO2 であることを確認した。</p> <p>本検証意見は、別添のモニタリング報告書に基づくものとして解釈されなければならない。</p>
----------------	--

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

ⁱⁱ 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。